

引きこもり・不登校の 子の支援活動を評価

引きこもりや不登校の場「はるかぜ書店」を運子の支援に取り組む横須営するなどの活動が評価賀市のNPO法人「アン」された。島田徳隆理事長ガーシユマン・よこす(三)は「生きにくさを抱か」が、内閣府特命担当える若者が多い時代。彼大臣表彰の「子ども若者らの再チャレンジを支え育成・子育て支援功労者る活動を続ける」と話し表彰」を受賞した。商店ていいる。

街の空き店舗を使い、居 アンガージュマンは二場所づくりや就労体験の〇〇三年、元教員らが中

内閣府特命担当大臣表彰を受賞

心になって設立。同市上で、全国から推薦された町の商店街の一角で、相百十三件のうち十二団体談業務や学習指導、書店三個人が選ばれた。

や農作物販売などの就労 不登校の経験がある石訓練、シェアハウス運営 井利衣子事務局長(三)はなどをしている。商店街「商店街で活動を続けるの仕事や催しの手伝いも中で、地域の力を感じし、地域との結び付きをた。引きこもりや不登校深めている。

現在、十〜二十代を中 地域の中にあるのは大心に約五十人が利用し、事。こつこつ活動の成果百六十三人の会員が活動はすぐに出るものではないが、続けていきたいも・若者育成支援部門」と話した。(中沢佳子)

東京新聞 平成24年11月24日